

平成30年度 武蔵野音楽大学別科

入学案内 入学試験要項

本学別科を志す皆さんへ

平成 23 年度より武蔵野音楽大学別科を開設し、器楽コース、声楽コース、作曲コースそして指揮コースの 4 つのコースを開設しました。

武蔵野音楽大学は、建学の精神を「〈和〉のこころ」と定め、それに基づいて「音楽芸術の研鑽^{けんさん}」と「人間形成」を教育の方針としています。

音楽を専門として志す者は広い知識を身につけ、たゆまぬ努力を続けて、もてる才能を常に磨かなければなりません。もちろん一人の人間として礼節を守り、自己に対して厳しく、協調性ある円満な人格が求められます。

真の音楽芸術は、その者の総合的な人間性が技量を通して表現されるものであって、安易な模倣や技巧のみへの偏重は、芸術とは言えないからです。

本学別科を志す皆さんは、《CAMPUS GUIDE 2018》を参考に、本学の建学の精神、教育の方針・目的、教育環境等をよく理解したうえで受験されるよう希望します。

武蔵野音楽大学は、本学の教育理念に共鳴し、本学別科での研鑽を望まれる皆さんを心から歓迎します。

—目次—

I 別科課程の概要	2
II 入学試験要項	4
III 実技試験課題	6

I 別科課程の概要

1 目的

本別科は、音楽を志す幅広い年齢層を対象に、音楽の技術および知識のレベルアップを図ることを目的としています。

2 特色

(1) この課程には、器楽コース（有鍵楽器・管楽器・打楽器・弦楽器）、声楽コース、作曲コースそして指揮コースの4つのコースが設けられています。各コースとも、1つの実技科目と2つ以上の学科目を選択し受講する必要があります。

実技科目では、1対1での個人レッスンの際に個々のレベルに応じた指導を行いますので、音楽学部及び大学院への入試対策としても活用できます。

学科目（クラス授業）については、幅広い学修目的に応える授業を行います。

また外国人留学生に対しては、本学が開講している日本語に関する科目を受講することができます。

(2) 専攻楽器および声楽、作曲そして指揮の実技科目は必修科目として、週1回、月曜日、火曜日、水曜日、木曜日、金曜日いずれかの午後に開講します。

学科目は選択科目として、西洋音楽史Ⅰ、西洋音楽史Ⅱ、音楽理論Ⅰ、音楽理論Ⅱを土曜日の午前に開講し、これら4科目の中から2科目以上を受講する必要があります（4科目受講も可）。

(3) 本別科生は正規生であり、以下に挙げる学部学生に準じるサポートが受けられます（一部有料のものがあります）。

- 本学の図書館の利用
- 本学が主催する演奏会への入場、公開講座の聴講等
- 練習室の利用
- 楽器の借用
- 軽井沢高原研修センターの利用
- 学生教育研究災害傷害保険の加入（本学負担）
- 学生定期健康診断の受診（本学負担）
- その他〔ヤマハ銀座店武蔵野音大ショップの利用（割引販売）、JR学生割引の利用〕

3 修業年限

本別科の修業年限は1年です。ただし、別科規則第8条に規定する入学試験を再度受験し合格した場合は、更に修業することができます。なお、通算して4年間を限度とします。

4 授業内容

(1) カリキュラム

本別科で設置する科目は、各専攻楽器および声楽、作曲、指揮の実技科目と、西洋音楽史Ⅰ、西洋音楽史Ⅱ、音楽理論Ⅰ、音楽理論Ⅱ、日本語に関する科目の学科目です。いずれの授業も本大学学事暦に基づき前期と後期の授業期間に開講することとします。

実技科目の個人レッスン時間は60分、学科目の授業時間は50分です。

(2) 実技科目

器楽コース

このコースには、以下のような専攻楽器ごとの実技科目を設けています。

有鍵楽器：ピアノ、オルガン

管楽器：フルート、オーボエ、クラリネット、サクソフォーン、
ファゴット、ホルン、トランペット、トロンボーン、
ユーフォニアム、チューバ

打楽器：マリンバ、打楽器、ティンパニ

弦楽器：ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、コントラバス、ハープ

声楽コース

作曲コース

指揮コース

オーケストラ、吹奏楽、合唱の各分野を学ぶことができます。

(3) 学科目

以下の学科目は各コースに共通する選択科目です。

西洋音楽史Ⅰ：バロックから古典派までの音楽の流れ

西洋音楽史Ⅱ：ロマン派から近現代までの音楽の流れ

音楽理論Ⅰ：楽典および和声（三和音まで）

音楽理論Ⅱ：和声（属七の和音から近親転調まで）

5 課程の修了

1年間で実技科目を1科目および学科目を2科目以上履修し、それぞれ $\frac{2}{3}$ 以上を出席した上で、実技科目の修了審査に合格した者に修了証書を授与します。

Ⅱ 入学試験要項

1 募集人員 合計80名

2 出願資格 次の(1)または(2)に該当することが必要です。

- (1) 高等学校もしくは中等教育学校卒業以上または学校教育における12年以上の課程を修了した者、および入学の前月（平成30年3月）までに卒業（修了）見込みの者。
- (2) 外国の学校教育における11年以上の課程を修了している者（平成30年3月までに修了見込みの者を含む）

3 出願方法

- (1) 受付期間：平成30年1月16日（火）消印～1月23日（火）消印
- (2) 出願書類は特定記録による郵送のみとします。
郵送先：武蔵野音楽大学 入学試験事務室
〒176-8521 東京都練馬区羽沢1丁目13-1

4 受験料および納入方法

- (1) 受験料 20,000円
- (2) 納入方法
 - ①同封の払込取扱票のご依頼人・通信欄に、郵便番号、住所、電話番号および志願者氏名を記入して、別科項目に○印を付けて、郵便局・ゆうちょ銀行で納入してください。
 - ②納入後に受取る振替払込受付証明書（お客さま用）を同封の振替払込受付証明書貼付欄に貼付し、下記の出願書類とともに本学入学試験事務室まで郵送してください。一旦提出した出願書類および納入した受験料は返還いたしませんので、注意してください。

5 出願書類

- (1) 志願票、音楽歴および受験票
本学指定の用紙に必要な事項を記入の上、写真を貼付してください（4×3cm 3枚）。
- (2) 最終学歴の卒業証明書または卒業見込証明書（卒業証書ではありません）
ただし、本学を卒業または卒業見込みの場合は提出不要です（本学別科も同様です）。
- (3) 伴奏用楽譜
実技試験を声楽で受験する際に本学教員によるピアノ伴奏が必要な場合は、提出してください。なお、伴奏に便利なように開きやすく製本し、表に氏名を書いてください。

6 選考方法・日程

- (1) 入学試験日：平成30年2月12日（月・祝）・2月13日（火）
- (2) 入学試験場：武蔵野音楽大学 江古田キャンパス
- (3) 試験課題：課題曲（6ページ参照）による実技試験および面接試験

（試験日程の詳細は、出願締め切り後に受験生に通知します）

注1 器楽の実技試験時の伴奏者は、必ず受験者が各自で同行してください。なお、伴奏者は本学園に勤務する教職員を除きます。

注2 声楽の実技試験については、特に希望がない場合には本学で選任した者がピアノ伴奏を担当します。なお、希望する場合は、申し出により伴奏者を同行することができます。この場合、本学園に勤務する教職員を除きます。

7 合格発表

合否通知発送日：平成30年2月16日（金）

合否通知は、志願者本人に郵送（特定記録速達）します。通知の到着は発送日以降となります。

※電話または郵便等での合否に関する問い合わせには一切応じられません。

8 学生納付金と入学手続

(1) 学生納付金

平成30年度学生納付金

入学金	授業料（年額）	施設費（年額）	合計
30,000円	530,000円	50,000円	610,000円

一旦納入した入学金は返還いたしませんので、注意してください。

平成30年3月1日（木）から3月8日（木）15時までに、所定の入学金および授業料等を納入してください。

(2) 入学手続

所定の期限までに入学手続を完了しない場合、入学の意思のないものとして取り扱います。詳細は合格通知書に同封される入学手続書類に従ってください。

Ⅲ 実技試験課題

[器楽コース]

■ピアノ

次の **A** および **B** を演奏すること（暗譜。繰り返しなし）。

A 次の曲集の中より任意の1曲

J.S. Bach	シンフォニア
J.S. Bach	平均律クラヴィーア曲集 第1巻（フーガのみで可）
J.S. Bach	平均律クラヴィーア曲集 第2巻（フーガのみで可）
Cramer=Bülow	60の練習曲
Clementi	29の練習曲
Moscheles	24の練習曲 Op.70
Moszkowski	15の練習曲 Op.72
Chopin	12の練習曲 Op.10
Chopin	12の練習曲 Op.25

B 任意の作品。演奏時間は5分以上とする（複数曲も可。ソナタからの楽章抜粋および組曲等からの抜粋も可）。

■オルガン

足鍵盤を使用する3分以上の任意の曲を演奏する（複数曲も可）。

■フルート

バロックから近代までの作品から任意の1曲を演奏する。
ただし、ソナタまたは協奏曲の場合は、第1楽章または終楽章とする。

*原則伴奏は不要。ただし、伴奏を必要とする受験者は、各自で同行する。

■オーボエ

バロックから近代までの作品から任意の1曲を演奏する。
ただし、エチュード（練習曲）を演奏してもよい。

*原則伴奏は不要。ただし、伴奏を必要とする受験者は、各自で同行する。

■クラリネット

古典から現代までの作品から任意の1曲を演奏する。
ただし、ソナタまたは協奏曲の場合は、第1楽章または終楽章とする。

*原則伴奏は不要。ただし、伴奏を必要とする受験者は、各自で同行する。

■サクソフォーン

古典から現代までの作品から任意の1曲を演奏する。
ただし、ソナタまたは協奏曲の場合は、第1楽章または終楽章とする。

*原則伴奏は不要。ただし、伴奏を必要とする受験者は、各自で同行する。

■ファゴット

次の中から1曲を選んで演奏する。
L.Milde Concert Studies Op.26 Vol.1より1、2、3

■ホルン

任意の1曲を演奏する。
ただし、ソナタまたは協奏曲の場合は、第1楽章または終楽章とする。

*原則伴奏は不要。ただし、伴奏を必要とする受験者は、各自で同行する。

■トランペット

任意の1曲を演奏する。
ただし、ソナタまたは協奏曲の場合は、第1楽章または終楽章とする。

*原則伴奏は不要。ただし、伴奏を必要とする受験者は、各自で同行する。

■テナー・トロンボーン

任意の1曲を演奏する。

ただし、ソナタまたは協奏曲の場合は、第1楽章または終楽章とする。

*原則伴奏は不要。ただし、伴奏を必要とする受験者は、各自で同行する。

■バス・トロンボーン

任意の1曲を演奏する。

ただし、ソナタまたは協奏曲の場合は、第1楽章または終楽章とする。

*原則伴奏は不要。ただし、伴奏を必要とする受験者は、各自で同行する。

■ユーフォニアム

任意の1曲を演奏する。

ただし、ソナタまたは協奏曲の場合は、第1楽章または終楽章とする。

*原則伴奏は不要。ただし、伴奏を必要とする受験者は、各自で同行する。

■チューバ

任意の1曲を演奏する。

ただし、ソナタまたは協奏曲の場合は、第1楽章または終楽章とする。

*原則伴奏は不要。ただし、伴奏を必要とする受験者は、各自で同行する。

■マリンバ

任意の無伴奏マリンバ独奏曲1曲を演奏する。

■打楽器

次のイ.ロ.ハ.の中からそれぞれ1曲ずつ選び3曲を演奏する。

W.F.Ludwig Collection Drum Solos (Ludwig Drum 版) (繰り返しなし)

イ. Capt. Whiting's (9ページ) The Guard of The Standard (10ページ)

ロ. Dedekii (6ページ、D.S.あり) Fancy $\frac{6}{8}$ (15ページ)

A.J.Cirone Portraits in rhythm

ハ. 第3番、第6番、第13番、第50番 (Belwin Mills 版)

■ティンパニ

次の7曲の中から2曲を選び演奏する。

R.Hochrainer Etudes for Timpani Vol.1

第13番、第32番、第34番、第36番、第40番、第42番、第45番 (Doblinger 版)

■ヴァイオリン

次の5曲の中から1曲を選び演奏する (暗譜。伴奏なし)。

イ. J.S.Bach Konzert a moll BWV1041 第1楽章

ロ. G.B.Viotti Konzert Nr.23 G dur 第1楽章 カデンツァを除く

ハ. W.A.Mozart Konzert Nr.3 G dur K.216 第1楽章 カデンツァを除く

ニ. W.A.Mozart Konzert Nr.4 D dur K.218 第1楽章 カデンツァを除く

ホ. W.A.Mozart Konzert Nr.5 A dur K.219 第1楽章 カデンツァを除く

■ヴィオラ

次の5曲の中から1曲を選び演奏する (暗譜。伴奏なし)。

イ. J.C.Bach Konzert c moll 第1楽章

ロ. G.F.Händel Konzert h moll 第1楽章

ハ. G.P.Telemann Konzert G dur 第1、2楽章

ニ. C.Stamitz Konzert D dur 第1楽章 カデンツァを除く

ホ. C.F.Zelter Konzert Es dur 第1楽章 カデンツァを除く

■チェロ

次のイ.ロ.ハ.のいずれかを選び演奏する (暗譜。伴奏なし)。

イ. A.Vivaldi Sonata RV 第40番、第41番、第43番、第45番、第46番、第47番から1曲を選び、第1楽章および第2楽章を演奏する。

ロ . J.Klengel Concertino 第1番 Op.7、第2番 Op.41、第3番 Op.46から1曲を選び、
第1楽章を演奏する。

ハ . G.Goltermann Concerto 第4番 Op.65、第5番 Op.76から1曲を選び、
第1楽章を演奏する。

■コントラバス

次のイ . ロ . ハ . のいずれかを選び演奏する（伴奏なし）。

イ . Benedetto Marcello Sonata No.2 E minor Adagio

ロ . Willem de Fesch Sonata D minor Op.8-3 Siciliano

ハ . Willem de Fesch Sonata D minor Op.8-3 Arietta

■ハープ

任意の独奏曲1曲を演奏する。

〔声楽コース〕

次の **A** および **B** を演奏すること（暗譜）。演奏時間の合計は4分以上とする。

A **B** の順で歌うこと。ただし **A** **B** の曲は重複しないこと。

A 下記の作曲家の作品から1曲を選び、演奏する（歌曲に限る、歌詞は原語とする）。

Caccini、Rosa、A. Scarlatti、Gasparini、Caldara、Pergolesi、Giordani、Bellini、Verdi、
Respighi、Mozart、Beethoven、Schubert、R. Schumann、Brahms、R. Strauss、H. Wolf、
Lully、Fauré、Debussy、Poulenc、

瀧廉太郎、山田耕筰、信時潔、弘田竜太郎、成田為三、平井康三郎、中田喜直

B 自由曲1曲（オペラのアリアも可、**A** で選択した作曲家の作品でもよい。）

なお、時間の都合により途中でカットする場合がある。

伴奏者の同行を認める。ただし、伴奏者を必要とする受験者には本学で用意をする。

〔作曲コース〕

次の **A** **B** の課題よりいずれかを選択すること。

A 与えられた素材を使用して任意の楽器のための小品を作曲する。

所要時間は2時間。形式は自由とする。なお、簡易キーボードの使用を許可する。

[素材例]



入学試験期間にその作曲小品に関する口述試験を行う。

B 自作作品の楽譜にそれが録音された音源メディア（CD-R、MD など）を添えて出願時に提出する。

入学試験期間にその提出作品に関する口述試験を行う。出願の際には氏名を記入すること。

〔指揮コース〕

次の **A** および **B** を受験すること。

A 任意の楽器または声楽で5分程度の演奏をする。

ただし、声楽については歌曲（日本歌曲を含む）またはオペラのアリアとする。

伴奏者の同行を認める。なお、伴奏者を必要とする受験者には本学で用意をする。

B 次の①②③の中から1曲を選んで指揮をする。

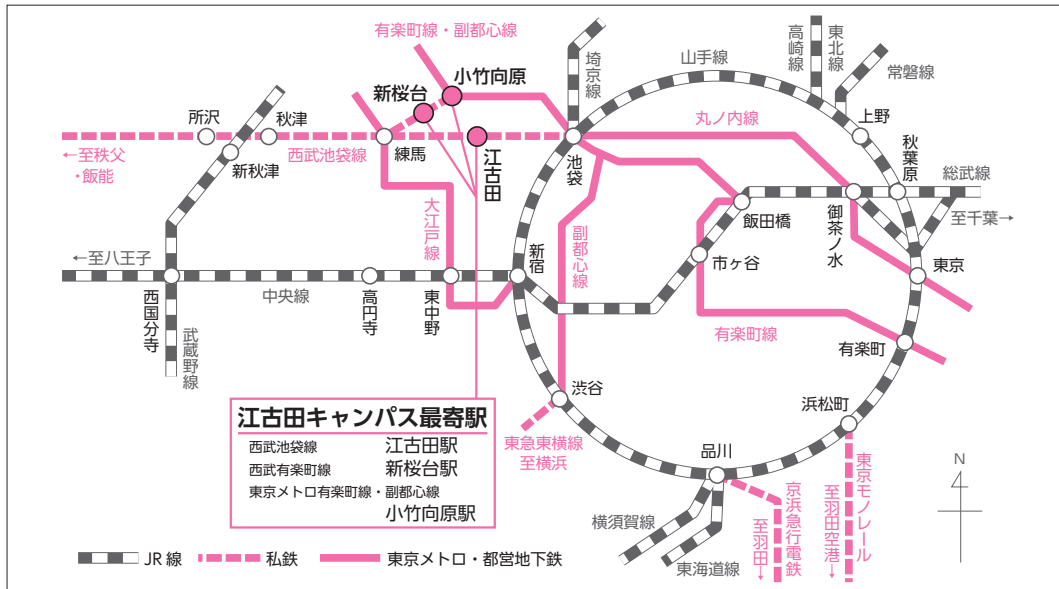
（①②の伴奏はピアノ、③は声楽アンサンブルで行う。）

① J. Brahms（編曲：Schmeling） Ungarische Tänze No.5（日本楽譜出版社 版 No.192）

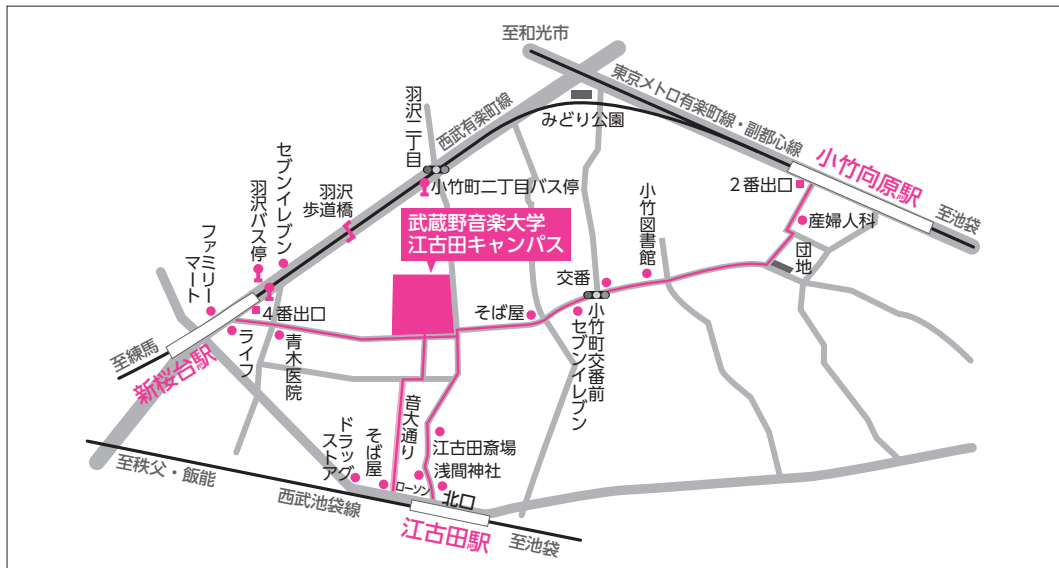
② A. Reed Armenian Dances Part I（Sam Fox Publishing 版）

③ Arcadelt Ave Maria（楽譜は願書受付後、郵送します。）

■ 最寄駅までの交通路線図



■ 江古田キャンパスまでの徒歩ルート



- 西武池袋線 江古田駅北口よりキャンパスまで徒歩4分
- 西武有楽町線 新桜台駅4番出口よりキャンパスまで徒歩4分
- 東京メトロ有楽町線・副都心線 小竹向原駅2番出口よりキャンパスまで徒歩9分

入学試験に関する主な問い合わせ先

問い合わせ先	問い合わせ内容	電話番号
入学試験事務室	入学試験全般について	03-3992-1119
学生課	奨学金について	03-3992-1129
広報室	入学試験要項請求について	03-3992-1125
経理課	授業料、納入金について	03-3992-1254
管理課	練習室、練習楽器について	03-3992-1123

武蔵野音楽大学

MUSASHINO ACADEMIA MUSICAE

江古田キャンパス 〒176-8521 東京都練馬区羽沢1丁目13-1

武蔵野音楽大学ウェブサイト <http://www.musashino-music.ac.jp/>